

# 御坂中学校グラウンド整備工事

グラウンド整備	
G00	表紙・図面リスト
G01	外構特記仕様書-1
G02	外構特記仕様書-2
G03	外構特記仕様書-3
G04	外構特記仕様書-4
G05	案内図、仮設計画図
G06	外構図-1
G07	外構図-2
G08	外構図-3
G09	外構図-4
G10	外構図-5

表紙共11枚



7章 鉄骨工事

Table with 2 columns: Item No. (1-11) and Description. Includes details for steel structure construction, construction management, steel materials, scaffolding, high-strength bolts, joint tests, fire protection, anchor bolt maintenance, and welding.

8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

Table with 2 columns: Item No. (1-6) and Description. Includes details for concrete blocks, ALC panels, extruded cement boards, asphalt waterproofing, high-molecular weight resin waterproofing, and surface protection.

9章 防水工事

Table with 2 columns: Item No. (1-6) and Description. Includes details for tile work, wall tile hanging, wood quality, tree types, and floor waterproofing.

10章 屋根及び土間工事

Table with 2 columns: Item No. (1-3) and Description. Includes details for roof and ground work, including stone paving, terrazzo paving, and long metal plate work.

11章 金属工事

Table with 2 columns: Item No. (1-3) and Description. Includes details for stainless steel surface work, aluminum and aluminum alloy surface treatment, and steel chain hanging.

12章 左官工事

Table with 2 columns: Item No. (1-6) and Description. Includes details for mortar plastering, concrete leveling, and wall plastering.

13章 左官工事

Table with 2 columns: Item No. (1-3) and Description. Includes details for wall plastering, floor leveling, and wall plastering.

Table with 2 columns: Item No. (1-3) and Description. Includes details for wall plastering, floor leveling, and wall plastering.

Table with 2 columns: Design Year (52-037) and Scale (A1, A3: 50%). Includes object name (御坂中学校グラウンド整備工事) and drawing name (外構特記仕様書-2).

Table with 2 columns: District (区分) and Designer (建築意匠). Includes drawing No. (No. G02).

1. 見本の製作等	・特殊な建具の仮組 (建具符号: ) (16. 1. 4)
2. アルミニウム製建具	外部に面する建具 (16. 2. 2) (16. 2. 4) (表16. 2. 1) 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み (mm) 施工箇所 ・A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70 ※図示 ・ ・B種 S-5 ※図示 ・ ・C種 S-6 A-4 W-5 特記による ※図示 ・ 断熱等級 ・ 枠 ・ 障子 ・ ガラス ・ 表面処理 ※B-1種 ・ B-2種 ( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー ) (表14. 2. 1) 屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 (表14. 2. 1) ・ C-2種又はB-2種 ( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー ) 防虫網 (16. 2. 3) 網の種別 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 (SUS316) 形 式 ※外部可動式 ・ 固定式
3. 樹脂製建具	建具の性能及び構造の適用は建具表による (16. 3. 2) 製造所標準仕様による (表16. 3. 3)
4. 鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は特記による (16. 4. 2) (表16. 4. 1) 耐風圧性の適用は建具表による 特定防火設備の戸 ・ 適用あり
5. 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (16. 5. 2)
6. ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による 耐風圧性の適用は建具表による (16. 6. 4) 表面仕上げ ※HL程度 ・ 鏡面仕上げ ・ (16. 6. 4) 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ (補強あり) (16. 6. 5) 特定防火設備の戸 ・ 適用あり (表16. 6. 1)
7. 木製建具	かまち戸の樹種 かまち ( ) 鏡板 ( ) (16. 7. 2) ふすまの上張り (表16. 7. 3~10) ※新鳥の子又はビニル紙程度 (押入等の表面は除く) ・ 鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16. 7. 2) ※規制対象外 ・ 第三種
8. 建具用金物	マスターキー ※製作する ・ 製作しない (16. 8. 4) 建具用金物 (16. 4. 6) (16. 5. 6) 錠類はシリンダー錠 (レバーハンドル) とする (表16. 8. 1~5) なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員 の承諾を受ける (16. 8. 2) 吊金物 ・ 丁番 (内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ ヒボットヒンジ ・ フロアヒンジ
9. 自動ドア開閉装置	(16. 9. 2~3) (表16. 9. 1~3) 開閉方法 センサの種類 ※スライディングドア ・ マットスイッチ ・ 電子マットスイッチ ・ スイングドア ※光線スイッチ ・ 音波スイッチ ・ 熱線スイッチ ・ 光電スイッチ ・ 凍結防止措置 (適用箇所は建具表による)
10. 自閉式上吊り戸装置	品質規格 ※標仕16. 10. 11による (16. 10. 2~3) ・ 製造所標準仕様による
11. 重量シャッター	(16. 11. 2) シャッターの種類 ・ 一般重量シャッター 耐風圧性能 ( ) N/m <sup>2</sup> ・ 外壁用防火シャッター 耐風圧性能 ( ) N/m <sup>2</sup> ・ 屋内用防火シャッター ・ 屋内用防煙シャッター 開閉機能 ※上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 (16. 11. 2) (表16. 11. 1) 危害防止機構 ※障害物感知装置 (自動閉鎖型) ・ シャッターの二段降下方式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・ 設けない (16. 11. 2)
12. 軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 ・ 上部電動式 (手動併用) (16. 12. 2) (表16. 12. 1) スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ 鋼板 (16. 12. 3) 形状 ※インターロック型形 ・ オーバーラッピング形 (16. 12. 4) ガイドレール等 ※鋼板製 ・ ステンレス製 SUS304 (厚さ1. 5mm) (表16. 12. 2) 耐風圧性能 ( ) N/m <sup>2</sup>
13. オーバーヘッドドア	(16. 13. 2~3) セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレール ※スチールタイプ ※バランス式 ・ スタンダード形 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ アルミニウムタイプ ・ チェーン式 ・ ローヘッド形 ※ステンレス鋼板 ・ ファイバーグラスタイプ ・ 電動式 ・ ハイリフト形 (SUS304) ・ パーチカル形 耐風圧性能 ( ) N/m <sup>2</sup>
14. ガラス	※建具表による (16. 14. 2) ・ ガラスブロック 標仕16. 14. 51による (16. 14. 5) 表面形状 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 防火性能 ・ 正方形 ※クリア ※無し ・ 長方形 ・ 有り
ガラス留め材及び溝	ガラス留め材 (16. 14. 2) (表9. 7. 1) 建具の種類 材 種 アルミニウム製 ※シーリング材 ・ ガスケット (FIX部はシーリング材) 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ステンレス製 ※シーリング材 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。 板ガラスをはめ込む溝の大きさ 標仕16. 14. 3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は (社) 日本建築学会 JASS 17 ガラス工事13. 1納まり寸法標準1)によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する (16. 14. 3) 名 称 種 類 張り面 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り ・ 外張り 飛散防止率 D1 品質 JIS A 5759による

2. メタルカーテン	設計図書による規定の他、特記無き事項は (社) 日本建築学会 JASS14 による。 カーテンウォール材料の種類 (17. 2. 2) 種 類 規格等 ※アルミニウム製 ※標仕16. 2. 3のアルミニウム製建具の材料による カーテンウォール方式 ・ 方立方式 ・ バックマリオン方式 ( ・ 単純2辺支持構法 ・ SSG構法) ・ スパンドレル方式 ・ パネル方式 ・ 小型パネル組み合わせ方式 ( ・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式) シーリング材及びガラス取付け材料 下記以外は標仕9. 7. 11による (9. 7. 2) (17. 2. 2) (表9. 7. 1) 被着体の組合せ シーリング材の種類 記 号 主成分による区分 耐久性による区分 金属 ガラス 石、タイル ガラス ガラス 構造用ガスケット ※適用しない (17. 2. 2) ・ 適用する (施工箇所: 図示) 断熱材 ※適用しない (17. 2. 2) ・ 適用する (種類: 厚さ (mm) : 施工箇所 ※図示) 製品の寸法許容差 ※標仕17. 2. 11による (17. 2. 3) (表17. 2. 1) ・ 製造所標準製作規定寸法許容差による ・ 取付け (17. 2. 5) (表17. 2. 2~3) (17. 2. 3) (表14. 2. 1) アルミニウムの表面処理 種 別 無着色 色彩等 ・ A-1種 ・ B-1種 ・ A-2種 ・ B-2種 ※ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー ・ 着色塗膜 塗装材料 ( ) 焼付け方法 ( ) コート ( ) ベーク 耐風圧性能 性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。 ・ 正圧 N/m <sup>2</sup> 以上及び負圧 N/m <sup>2</sup> 以上に対して安全であること。 主要部材のたわみ 支点間距離 (H) たわみ量 状 態 ※4M以下 ※± (1/150) × h ※各部の破損、残留変形 かつ絶対量20mm以下 有害な変形が起こらないこと ・ 4Mを超える (17. 1. 3) 耐震性能 設計用震度 水平方向 (K <sub>h</sub> ) ※1. 0 ・ 垂直方向 (K <sub>v</sub> ) ※0. 5 建物の構造種別 層間変位量 (h=支点間距離) 状 態 鉄骨造 ※± (1/100) × h以上 ※部材の脱落、ガラスの破損及び 主要部材に有害な歪みが起こらないこと 鉄筋コンクリート造 ※± (1/200) × h以上 鉄骨鉄筋コンクリート造 水密性 ・ W-4 ・ W-5 (17. 1. 3) 気密性 ・ A-3 ・ A-4 (17. 1. 3) 耐火性能 ※適用しない ・ 適用する ( 時間、施工箇所: 図示) 映像調整 ※行わない ・ 行う (建具表による) 製造所 性能等の確認できる資料を提出し監督職員 の承諾を受ける 設計図書による規定の他、特記無き事項は (社) 日本建築学会 JASS 14 による。 コンクリートの種類及び品質 (17. 3. 2) ※標仕17. 3. 2による ・ 下表による。ただし、下表以外は標仕17. 3. 21による。 コンクリートの種類 設計基準強度 (f <sub>c</sub> ) 所要スランプ (cm) 鉄筋 ※SD295A 取付け用金物の表面処理 (鉄の亜鉛めっき) 及び材質 (14. 2. 3) (表14. 2. 2) 金物種類及び部位 内 部 外 部 PC板打込み金物 ※E種 ・ ※A種 ・ PC板打込み取付けボルト ※E種 ・ ※ステンレスボルト 2次ファスナー ※E種 ・ ※A種 ・ 取付けボルト ※E種 ・ ※A種 ・ レベル調整ボルト ※E種 ・ ※A種 ・ 上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による シーリング材料 下記以外は標仕9. 7. 11による (9. 7. 2) (17. 3. 2) (表9. 7. 1) 施工箇所 シーリング材の種類 記 号 主成分による区分 耐久性による区分 カーテンウォール板間目地 断熱材 ※適用しない ・ 適用する (種類: 厚さ (mm) : 施工箇所 ※図示) 製品の寸法許容差 ※標仕17. 3. 11による (17. 3. 3) (表17. 3. 1) ・ 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ ( ) 耐火材料 施工部位 種 別 規格等 ・ ファスナー部 ・ 取付けブラケット ・ パネル目地部 ・ 層間ふさぎ 耐風圧性能 (17. 1. 3) 性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。 ・ 正圧 N/m <sup>2</sup> 以上及び負圧 N/m <sup>2</sup> 以上に対して安全であること。 耐震性能 (17. 1. 3) 設計用震度 水平方向 (K <sub>h</sub> ) ※1. 0 ・ 垂直方向 (K <sub>v</sub> ) ※0. 5 建物の構造種別 層間変位量 (h=支点間距離) 状 態 鉄骨造 ※± (1/100) × h以上 ※部材が損傷せず、破損脱落もしない。 鉄筋コンクリート造 ※± (1/200) × h以上 ガラス等の破損もない 鉄骨鉄筋コンクリート造 シーリングは補修程度
3. PCカーテンウォール	設計図書による規定の他、特記無き事項は (社) 日本建築学会 JASS 14 による。 コンクリートの種類及び品質 (17. 3. 2) ※標仕17. 3. 2による ・ 下表による。ただし、下表以外は標仕17. 3. 21による。 コンクリートの種類 設計基準強度 (f <sub>c</sub> ) 所要スランプ (cm) 鉄筋 ※SD295A 取付け用金物の表面処理 (鉄の亜鉛めっき) 及び材質 (14. 2. 3) 金物種類及び部位 内 部 外 部 PC板打込み金物 ※E種 ・ ※A種 ・ PC板打込み取付けボルト ※E種 ・ ※ステンレスボルト 2次ファスナー ※E種 ・ ※A種 ・ 取付けボルト ※E種 ・ ※A種 ・ レベル調整ボルト ※E種 ・ ※A種 ・ 上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による シーリング材料 下記以外は標仕9. 7. 11による (9. 7. 2) (17. 3. 2) (表9. 7. 1) 施工箇所 シーリング材の種類 記 号 主成分による区分 耐久性による区分 カーテンウォール板間目地 断熱材 ※適用しない ・ 適用する (種類: 厚さ (mm) : 施工箇所 ※図示) 製品の寸法許容差 ※標仕17. 3. 11による (17. 3. 3) (表17. 3. 1) ・ 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ ( ) 耐火材料 施工部位 種 別 規格等 ・ ファスナー部 ・ 取付けブラケット ・ パネル目地部 ・ 層間ふさぎ 耐風圧性能 (17. 1. 3) 性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。 ・ 正圧 N/m <sup>2</sup> 以上及び負圧 N/m <sup>2</sup> 以上に対して安全であること。 耐震性能 (17. 1. 3) 設計用震度 水平方向 (K <sub>h</sub> ) ※1. 0 ・ 垂直方向 (K <sub>v</sub> ) ※0. 5 建物の構造種別 層間変位量 (h=支点間距離) 状 態 鉄骨造 ※± (1/100) × h以上 ※部材が損傷せず、破損脱落もしない。 鉄筋コンクリート造 ※± (1/200) × h以上 ガラス等の破損もない 鉄骨鉄筋コンクリート造 シーリングは補修程度

1. 材 料	屋内の壁及び天井の塗装の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする。 (18. 1. 3) 各部の素地ごしらえ (18. 2. 1~7) (表18. 2. 1~7) 木 部 ※A種 (不透明塗料塗) ※B種 (透明塗料塗) 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ※C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 塗り工法に応じた節の規定 モルタル・ プラスター面 ・ A種 ※B種 コンクリート・ ALCパネル面 ・ A種 ※B種 コンクリート・ 押出成形セメント板面 ・ A種 ・ B種 塗り工法に応じた節の規定 ボード面 ※A種 (縦目処理工法) ※B種 (その他)
2. 素地ごしらえ	塗料の種類 (18. 3. 1~2) 鉄鋼面 ※A種 ※B種 (標準仕様書8節の場合) 亜鉛めっき鋼面 ※A種 ・ B種 (標準仕様書8節の場合) 錆止め塗料塗り (18. 3. 3) 鉄鋼面 ※A種 (見え掛り) ※B種 (見え隠れ) 亜鉛めっき鋼面 ※A種 (鋼製建具等) ・ B種
3. 錆止め塗料塗り	種類 ※1種 ・ 2種 (18. 4. 2) 木部 ※A種 (屋外) ※B種 (屋内) (表18. 4. 1~3) 鉄鋼面 ・ A種 ※B種
4. 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	種類 ・ A種 ※B種 (18. 5. 1) (表18. 5. 1)
5. クリアラッカー塗り (LL)	種別 ・ A種 ※B種 (18. 6. 1) (表18. 6. 2)
6. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (MAD)	種別 ・ A種 ※B種 (18. 6. 1) (表18. 6. 2)
7. 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面上塗り塗料 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 2) (表18. 7. 1) 亜鉛めっき鋼面上塗り塗料 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 3) (表18. 7. 2) コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (18. 7. 4) (表18. 7. 3)
8. つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、石膏ボード面、 (18. 8. 2) (表18. 8. 1) その他のボード面 ・ A種 ※B種 鉄鋼面 (屋内) ・ A種 ※B種 (18. 8. 4) (表18. 8. 3)
9. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、石膏ボード面、 (18. 9. 2) (表18. 9. 1) その他のボード面 ・ A種 ※B種
10. 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、石膏ボード面、 (18. 10. 2) (表18. 10. 1) その他のボード面 ・ A種 ※B種
11. ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	種別 ・ A種 ※B種 (18. 12. 2) (表18. 12. 1)
12. オイルステイン塗り (OS)	塗料 ・ (18. 12. 2) (表18. 12. 1)
13. 木材保護塗料塗り (WP)	種別 ・ A種 ※B種 (18. 13. 2) (表18. 13. 1)
2. ビニル床シート張り ビニル床シート 及びゴム床タイル張り	・ ビニル床シート (19. 2. 1~4) (表19. 2. 1~2) JIS A5705のJIS表示認証製品 種 類 記号 色 柄 厚さ (mm) 特殊機能 工法 ※発泡層のないもの ※FS ・ 無地 ※2. 0 ・ 帯電防止 ※熱溶接 ・ HS ・ マーブル ・ 2. 5 ・ 帯動荷重 ・ 突付け あるもの HS K S JIS A5705のJIS表示認証製品で、表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの 種類の記号 色 柄 厚さ (mm) 特殊機能 工 法 FS ・ 木目調 ※2. 0 ・ 帯電防止 ※熱溶接 ・ 石目調 ・ 2. 5 ・ 帯動荷重 ・ 突付け 上記以外はすべてビニル床シートと同じ ・ ビニル床タイル (19. 2. 1~4) (表19. 2. 1~2) JIS A5705のJIS表示認証製品 種 類 記号 寸法 厚さ (mm) 特殊機能 ※コンポジション ※KT ※300×300 ・ 2. 0 ・ 帯電防止 ビニル床タイル ・ 耐動荷重 ・ ホモジニアス ・ FT ・ 300×300 ・ 2. 0 ・ 帯電防止 ビニル床タイル ・ 450×450 ・ 耐動荷重 ・ 特殊機能床材 帯電防止 (19. 2. 1~4) (表19. 2. 1~2) ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 1. 2~3. 1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 3. 2~5. 1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 0. 1×1010オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 5. 2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 0. 1×107オーム未満 耐動荷重 JIS A 14541によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験 (発泡層のあるビニルシートのみ) およびキャスト性試験等の試験後異常がないこと。 ・ 視覚障害者用床タイル 材 質 寸 法 (mm) ・ 塩化ビニル系 ・ セツ器質タイル系 300×300 ・ ビニル幅木 材 種 ※軟質 ・ 硬質 ・ 溶接 高 さ (mm) ※60 ・ 75 ・ 100 厚 さ (mm) ※1. 5 ・ 2. 0 ・ 接着剤 JIS A 5536 (床仕上げ材接着剤) により、種別は表19. 2. 11による施工箇所に応じたものとする。ホルムアルデヒド放散量は特記による。特記がなければ☆☆☆とする。 (19. 3. 1~4) (表19. 3. 1) ・ 縦じゅうたん 種 別 バイル形状 色柄等 備 考 ・ A種 ・ カットバイル ※無地 ・ B種 ・ ルーフバイル ※柄物 (標準品) ・ C種 ・ カット、ルーフバイル併用 耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 (19. 3. 3~4) (表19. 3. 2) ・ タフテッドカーベット (19. 3. 3~4) (表19. 3. 2) バイル形状 バイル長 (mm) 工 法 備 考 ・ カットバイル ※5~7 ・ ※全面接着工法 下敷き材を敷く。 ・ ルーフバイル ※4~6 ・ ・ グリッパ工法 ・ レベルルーフバイル ※4 ・ ・ カット、ルーフ併用 耐電性 ※人体帯電圧3kV以下
3. カーベット敷き	・ 縦じゅうたん 種 別 バイル形状 色柄等 備 考 ・ A種 ・ カットバイル ※無地 ・ B種 ・ ルーフバイル ※柄物 (標準品) ・ C種 ・ カット、ルーフバイル併用 耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 (19. 3. 3~4) (表19. 3. 2) ・ タフテッドカーベット (19. 3. 3~4) (表19. 3. 2) バイル形状 バイル長 (mm) 工 法 備 考 ・ カットバイル ※5~7 ・ ※全面接着工法 下敷き材を敷く。 ・ ルーフバイル ※4~6 ・ ・ グリッパ工法 ・ レベルルーフバイル ※4 ・ ・ カット、ルーフ併用 耐電性 ※人体帯電圧3kV以下

4. 合成樹脂塗料	・ タイルカーベット (表19. 3. 2) バイル形状 種 類 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 備 考 ※ルーフバイル ※第一種 ※500×500 ※6. 5 粘着はく離形接着剤を使用する。 ・ カットバイル ・ カット、ルーフ併用 耐電性 ・ 人体帯電圧3kV以下 (フリーアクセスフロア敷設範囲) (19. 4. 1~4) (表19. 4. 1~8)
5. フローリング張り	種 別 仕上りの種類 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ ・ エポキシ樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ ( ・ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流し展べ工法 ( ・ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル工法 ( ・ 平滑 ・ 防滑) ・ 単層フローリング (19. 5. 1~7) (表19. 5. 1~6) 種 別 樹種 厚さ (mm) 工法 塗装 ・ フローリング ※ナラ ※15 幅75 長さ900以上 ・ 釘止め工法 ※ウレタン樹脂 ・ 接着工法 ワニス塗り ・ フローリング ※ナラ ※15 303×303 ・ 接着工法 ・ オイルステイン ・ ブロック ・ 塗りの上ワックス ・ モザイク ※ナラ ・ 6 ・ 8 ・ 9 ・ 接着工法 ・ 生地のままワックス ・ パーケット ・ 既塗装品 ・ 複層フローリング 種 別 樹種 種別 防湿処理 工法 塗装 ・ 複合1種 ※ナラ ・ A種 ・ 行う ・ 釘止め工法 ※ウレタン樹脂 フローリング ・ サクラ ・ B種 ・ 行わない ・ 接着工法 ワニス塗り ・ 複合2種 ・ ヒノキ ※C種 ・ オイルステイン フローリング 塗りの上ワックス ・ 複合3種 ・ ワックス フローリング ・ 生地のまま ・ 大型積層 ・ ナラ ・ 行う ・ 特殊張り工法 ワックス フローリング ・ サクラ ・ 行わない (体育館床) ・ 既塗装品
6. 畳敷き	畳の種類 ・ A種 ・ B種 (19. 6. 2) (表19. 6. 1) ・ C種 ・ D種 ( )
7. セッコウボード その他ボード 及び合板張り	(19. 7. 2~3) (表19. 7. 1~5) 種 類 JISの記号 厚さ (mm)、規格等 ・ 硬質木毛セメント板 HW G ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ・ 普通木毛セメント板 NW G ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ・ けい酸カルシウム板 0. 8FK タイプ2 (無石綿) ( ・ 6 ・ 8 ・ ) ・ ロックウール化粧吸音板 DR ※フラットタイプ (※9 (不燃) ・ 12 ・ ) ・ 凹凸タイプ (※12 (不燃) ・ 15 ・ 19 ・ ) ・ ロックウール化粧吸音板 DR ※フラットタイプ 9 (不燃) (軒天井用) DR (凹凸) ※凹凸タイプ (※12 ・ 15) (不燃) DR (軒天井用) DR (軒天井凹凸) ・ セッコウボード GB-R ※12. 5 (不燃) ・ 9. 5 (準不燃) ・ 不燃積層セッコウボード GB-NC 9. 5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様) ・ シージングセッコウボード GB-S 12. 5 (不燃) ・ 強化セッコウボード GB-F 12. 5 (不燃) 15. 0 (不燃) ・ セッコウラスボード GB-L 9. 5 ・ 化粧セッコウボード (木目) GB-D 9. 5 (不燃) 幅440mm程度 模様 (※縦目 ・ 板目) 専用下地材付き ・ 難燃合板 G ・ 生地、透明塗料塗り (ラワン合板程度) ・ 不透明塗料塗り (しな合板程度) ・ メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903による 厚さ1. 2 ・ ミディアムテンシティファイバーボード MDF G ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ ・ 単板張り G ・ 無研磨板 ・ 研磨板 パーティクルボード ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ ・ ハードボード (素地) HB G ・ 無研磨板 ( ・ スタンダード ・ テンパード ) ・ 研磨板 ( ・ スタンダード ・ テンパード ) ・ インシュレーションボード IB G A級 ( ・ 天井仕上 ・ 内装仕上 ) ( ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ ) 合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 第三種 軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※適用する ・ 適用しない (表19. 7. 1) 種 類 JISの記号 厚さ (mm) ・ ロックウール吸音ボード1号 RW-B ※25 ※グラスウール吸音ボード32K GW-B ※25
8. 壁紙張り	壁紙の種類 (19. 8. 2) 施工箇所 紙 繊維 (織物) プラ その他 (化学繊維) 無機質 防火性能 備 考 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 不燃、準不燃 ・ 難燃 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 不燃、準不燃 ・ 難燃 素地ごしらえ (表18. 2. 4~5) (表18. 2. 7) モルタル、プラスター面 ※B種 ・ A種 (施工箇所: ) セッコウボード面 ※B種 ・ A種 (施工箇所: ) 壁紙のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 第三種 (19. 8. 2) (19. 9. 2~3)
9. 断熱・防露	種 類 施工箇所 厚さ (mm) 品質等 ・ 押出法 ※2種b ※一般部 ・ 25 特定フロンを使用 ポリスチレンフォーム ※3種b ・ 接地部分 ・ 25 しないもの 保温板 (スキム層付) ・ 一般部 ・ 40 難燃性 ・ 3級 ・ 2級 ・ 断熱材兼用型枠 ・ 木質系 ※壁 (図示の範囲) ※40以下 断熱抵抗 ・ コンクリート系 = 厚さ / 熱伝導率 ・ プラスチック系 = 0. 676以上 (m <sup>2</sup> ・k/w) 製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 第三種

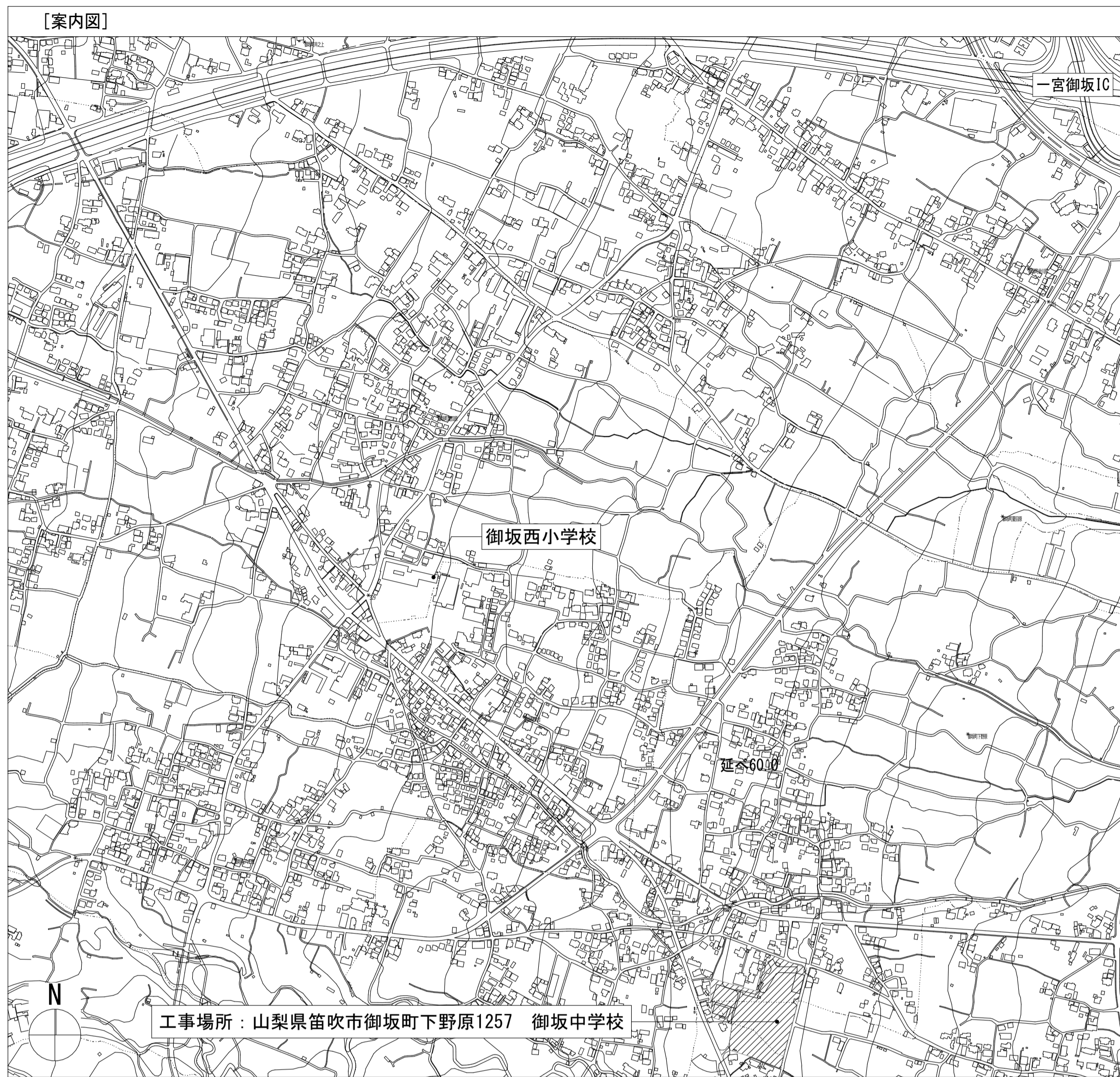
設計年月	縮 尺	物件名称	御坂中学校グラウンド整備工事	区分	建築意匠
52-037	A1 : A3 : 表記の50%	図面名称	外構特記仕様書-3	No.	G03

1. フリーアクセスフロア (20. 2. 2)	<p>施工箇所 構法 仕上り高 適用地震 耐荷重性能 表面仕上げ材 備考</p> <p>・パネル構法 ・溝構法</p> <p>・1.06 ・0.66</p> <p>・3.000N ・5.000N</p> <p>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</p> <p>・5.000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。</p> <p>表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事によるスロープ及びボーター ※製造所の標準仕様 ・図示 コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) ※製造所の箇所数は図示</p> <p>配線用取り出しパネル 配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上 フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20~30% 空調用吹き出しパネル ※無し ・有り(※固定式 ・可変式 : 施工箇所は図示)</p>
2. 可動間仕切 (20. 2. 3)	<p>構造形式 バネル部の 表面材種 表面仕上げ 遮音性能 防火性能</p> <p>・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式</p> <p>・60 ※鋼板 (※0.6 ・0.8)</p> <p>・あり ・なし</p>
3. 移動間仕切 (20. 2. 4)	<p>遮音性能 厚さ(mm) 表面材 表面仕上げ 操作方法</p> <p>・一般タイプ ※鋼板 ・焼付け塗装 ・壁紙張り ・部分電動式 ・電動式</p> <p>・遮音タイプ (36db以上) ※鋼板 ・焼付け塗装 ・壁紙張り ・部分電動式</p> <p>表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する</p>
4. トイレブース (20. 2. 5)	<p>表面仕上げ材 ※メラミン樹脂系化粧板(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板</p> <p>足形状 ※幅木型 ・足金物型</p>
5. 階段滑止め (20. 2. 6)	<p>材 種 ステンレスSUS304</p> <p>形 状 ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド ※有り(・ステンレス製 ※ビニル製) ・無し</p> <p>幅(mm) ※約35</p> <p>取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法</p>
6. 階段手すり	<p>種 別 施工箇所</p> <p>※集材材クリアラッカー仕上げ (市販品 径 約45mm)</p> <p>・既成品</p>
7. 黒板及びホワイトボード (20. 2. 8)	<p>種 類 寸法(mm) 色 彩 備 考</p> <p>・黒板 ※焼付け ※緑 ・黒 ※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分</p> <p>・ホワイト ※ほうろう ※白 ※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分</p>
8. 鏡 (20. 2. 9)	<p>寸法(mm) ・図示</p> <p>厚さ(mm) ※5</p>
9. 表 示 (20. 2. 10)	<p>衝突防止表示 ※図示(市販品 ※ステンレス製 径約30mm) (・両面 ・片面) ・無し</p> <p>表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。</p>
10. 煙突用成形ライニング (20. 2. 11)	<p>・煙突用成形ライニング材 最高使用温度 ※650℃ ・400℃</p> <p>・キャストアル耐火材 工 法 ※こて押さえ 最高使用温度 ※400℃</p>
11. ブラインド (20. 2. 12)	<p>形 式 種 類 スラットの材質 スラットの幅(mm)</p> <p>※横型 ※ギヤ式 ・コード式 ※アルミニウム合金製 ※25</p> <p>・操作棒式</p> <p>・縦型 ・1本操作コード ・アルミスラット ・80</p> <p>・2本操作コード ・クロススラット ・100</p>
12. ロールスクリーン (20. 2. 13)	<p>防炎性能 ※有り</p> <p>施工箇所 装 置 備 考</p> <p>電 動 手 引</p> <p>・</p> <p>・</p>
13. カーテン (20. 2. 14)	<p>施工箇所 形 式 装 置 ひだの種類 性 能 備 考</p> <p>片 引 引 分 電 動 紐 引 手 引</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>

14. カーテンレール (20. 2. 14)	<p>材 種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製</p> <p>形 式 ・片引き ・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)</p>
15. ブラインドボックス及びカーテンボックス	<p>・市販品(アルミニウム製 押出し型材) 溝幅×深さ(mm) ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・色色 ※B-1 ・B-2(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) ・図示</p>
16. 耐震スリット	<p>方 向 タイプ 耐火性能 防水性能</p> <p>・垂直方向 ※完全(全貫通型)スリット ・耐火型 ・有り</p> <p>・水平方向 ※完全(全貫通型)スリット ・非耐火型 ・無し</p> <p>目 地 内壁(幅×深さ) 外壁(幅×深さ)</p> <p>目地材 シーリング材(見え掛かりのみ) シーリング材(内外とも)</p> <p>目地寸法(mm) ※20×10</p>
17. 止水板	<p>形 状 ・据置式 ・壁張り式 ・差込式</p> <p>寸 法 製造所</p>
18. 天井点検口	<p>材 質 アルミニウム製(※額縁タイプ ・目地タイプ)</p>
19. 床点検口	<p>材 質 アルミニウム製(受け枠 ※アルミ製 ・ステンレス製)</p>
20. 鋼製書架及び物品棚	<p>種 類 規格等 耐荷重による種類</p> <p>・鋼製書架 JIS S 1039の規格による 水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ</p> <p>・鋼製物品棚 JIS S 1040の規格による ※1種 ・2種 ・3種</p>
21. かざ箱	<p>市販品</p> <p>形 式 ・30組用 ・60組用 ・120組用</p>
22. くつふきマット	<p>市販品</p> <p>材 質 ・塩化ビニル製(コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製(ステンレス製受枠) ・硬質アルミニウム製(受枠とも) ・ステンレス製(受枠とも)</p>
23. 流し台ユニット	<p>種 類 寸法(L= mm) 適用内容 規格・品質等</p> <p>・流し台 ※1200 ・1500 ・1800 トラップ付き ※優良住宅部品</p> <p>・コンロ台 ※600 ・700 バックガード ※有り (セクショナル キッチンⅠ型)</p> <p>・つり戸棚 ※1200 ・900 ・600</p> <p>・水切り棚 ※1200 ・900 ステンレス製 ※1段式 ※市販品</p>
24. 屋内掲示板	<p>枠の材質 ※アルミニウム製</p> <p>表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り</p>
25. 洗面カウンター	<p>材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材：集成材) ・人工大理石</p> <p>奥行き(mm) ・約450 ・約600</p>
26. 防煙垂れ壁	<p>・固定式</p> <p>材 質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備 考</p> <p>※網入り磨板ガラス ※6.8 ※500 アルミ製枠付き</p> <p>・練入り磨板ガラス</p> <p>・可動式</p> <p>種 類 材 質 高さ(mm) 備 考</p> <p>・垂直降下式 (巻取り型) ※不燃布 (不燃認定品) ※500 ・800 ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)</p> <p>・回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※500 ・800 表面仕上げ ※天井材張り</p> <p>降下機構 煙感知器運動及び手動開放装置(埋込型)</p>
27. 視覚障害者用床タイル (誘導用及び注意喚起用床材) (19. 2. 2)	<p>ブロックパターンはJIS T 9251Iによる</p> <p>色彩は黄色を原則とする</p> <p>屋 内 ※塩化ビニル製 ・磁器又はせせ器質タイル(※300 ・)</p> <p>・レジンコンクリート製</p> <p>屋 外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はせせ器質タイル(※300 ・)</p>
28. 旗竿	<p>材 質 ※アルミニウム合金製</p> <p>形 式 ※テーパー型 ・同一断面型</p> <p>地上高さ(m) ・6 ・8 ・10 ・12</p> <p>操作方法 ※ハンドル式 ・ロープ式</p> <p>固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</p> <p>製造所</p>
29. 旗竿受金物	<p>材 種 ステンレス製SUS304</p>
30. フェンス	<p>・ビニル被覆エキスパンドフェンス</p> <p>・樹脂塗装メッシュフェンス</p>
31. 屋外掲示板	<p>照明器具 ※有り ・無し</p> <p>施 錠 ※有り ・無し</p> <p>製造所</p>
32. 車止め支柱	<p>※ステンレス製(上下式鎖内蔵型) 径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm</p> <p>※スプリング付 ・スプリング無し</p>
33. 収納家具	<p>材質</p> <p>形状・寸法 ※図示</p> <p>ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種</p>
34. エキスパンション・ジョイント金物	<p>材質 ・アルミ ・ステンレス</p> <p>クリアランス ・50 ・100 ・150</p> <p>耐火性能 ・有り( ) ・無し</p> <p>防水型 ※適用する ・適用しない</p>
③⑤ 防球ネット	<p>形状・寸法 ※図示</p>
③⑥ バックネット	<p>形状・寸法 ※図示</p>

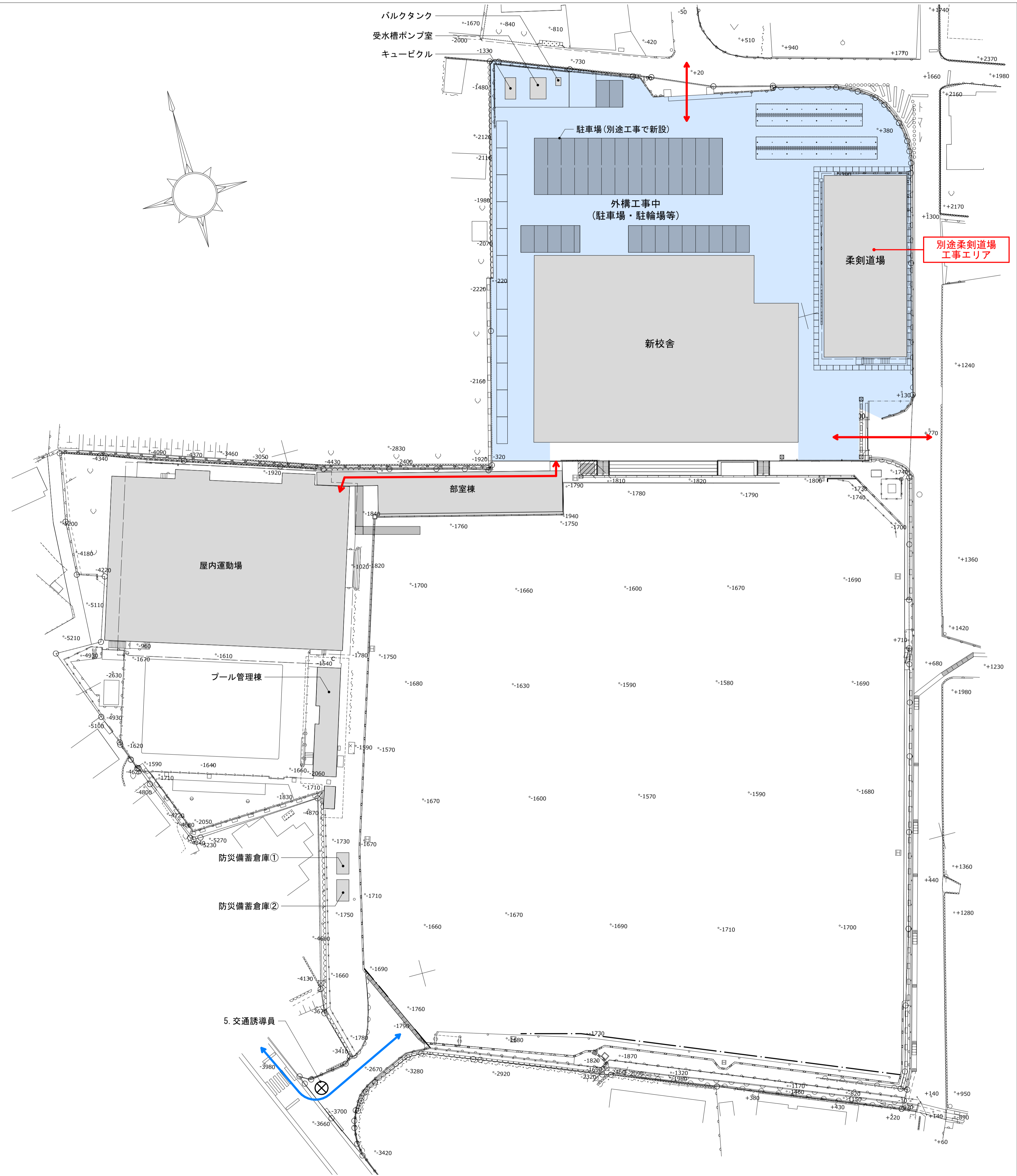
① 排水管	<p>排水管用材料 (21. 2. 3)(表21. 2. 2)(21. 3. 1~3. 2)</p> <p>材 種 管の種類 管形状(接合方法)</p> <p>※遠心力鉄筋コンクリート管 ※外圧管(※1種 ・2種) B形(ゴム接合)</p> <p>・硬質ポリ塩化ビニル管 ※VP ・VU</p> <p>・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 ※REP-VU G</p> <p>・硬質ポリ塩化ビニル管 ・DV</p> <p>車道部の排水管の敷設 (21. 3. 1~2)</p> <p>※図示</p> <p>・砂基礎(地厚厚さ20cm以上 材料 山砂の類)</p>																																																																																																																		
② 排水樹及びふた	<p>鉄製マンホールふた (21. 2. 2)</p> <p>種 類 適用荷重</p> <p>・水封形 ・密閉形(テーパー・パッキン式) ・T-2用</p> <p>・簡易気密形(パッキン式) ・中ふた付密閉形 ・T-6用</p> <p>・T-14用</p> <p>・T-20用</p> <p>グレーチングふた (21. 2. 2)</p> <p>材 質 形 式 種 類 適用荷重 メンバーピッチ 上面形状</p> <p>・鋼製 ※受枠付き ・溝ふた用 ・歩行用 ※細目 ※凹凸形</p> <p>・ステンレス製 ・樹ふた用 ・T-2用 ※普通目 ※平形</p> <p>ポルト固定 ※無し ・かさ上げ用 ・T-6用</p> <p>・図示 ・U字溝用 ・T-14用 ・細目</p> <p>・凹凸形</p> <p>・T-20用</p>																																																																																																																		
③ 埋戻し土	<p>※B種 (21. 2. 2~3)(表3. 2. 1)</p>																																																																																																																		
4. 浸透管及び浸透柵	<p>製造所</p>																																																																																																																		
22章 舗装工事	<p>1. 盛り土に用いる材料 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (22. 2. 3)(表22. 2. 1)</p> <p>2. 遮断層及び凍上抑制層の材料</p> <p>・遮断層 ※川砂、海砂又は良質山砂</p> <p>厚さは図示</p> <p>・凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン 切り込み砂利 ・砂</p> <p>厚さは図示</p> <p>・フィルター層 ※透水性舗装 車道部150mm・歩道部50mm (表22. 2. 1)</p> <p>3. 路床安定処理</p> <p>※添加材料による安定処理 (22. 2. 2~3)(表22. 2. 2)</p> <p>種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種</p> <p>・生石灰( ) ・消石灰( )</p> <p>添加量 kg/m<sup>3</sup> (目標CBR ※5以上 ・)</p> <p>4. 路床土の支持力比試験 ※行う(※乱した土 ・乱さない土) (22. 2. 5)</p> <p>5. 路床締固め度の試験 ※行う (22. 2. 5)</p> <p>6. 路盤材料G</p> <p>※再生クラッシュラン(RC-40)</p> <p>・クラッシュラン(C-40)又はクラッシュランスラグ(CS-40)</p> <p>透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの (22. 3. 3)</p> <p>7. アスファルト舗装 (22. 4. 2)(表22. 4. 1)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>車道部の基層</th> <th>カラー舗装の種類</th> </tr> <tr> <td>※アスファルト舗装</td> <td>※無し ・有り</td> <td>※顔料混入加熱アスファルト混合物</td> </tr> <tr> <td>・カラー舗装</td> <td>※無し ・有り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カラー舗装の着色骨材</td> <td>・有色骨材(焼成)</td> <td>・着色骨材(樹脂被覆)</td> </tr> <tr> <td>アスファルト</td> <td>※再生アスファルトG</td> <td>・ストレートアスファルト (22. 4. 3)</td> </tr> </table> <p>加熱アスファルト混合物の種類 (22. 4. 4)(表22. 4. 4)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>※一般地域</th> <th>寒冷地域</th> </tr> <tr> <td>※密粒度アスファルト混合物(13)</td> <td></td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>※細粒度アスファルト混合物(13)</td> <td></td> <td>※細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>※粗粒度アスファルト混合物(20)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>シールコート ※行わない ・行う(施工範囲：) (22. 4. 5)</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22. 4. 6)</p> <p>8. コンクリート舗装 (22. 5. 3)(表22. 5. 2~3)</p> <p>早強セメント ※使用しない ・使用する</p> <p>注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p> <p>溶接金網 ※有り ・無し (22. 5. 3~4)</p> <p>厚さ試験 ※行わない ・行う (22. 5. 6)</p> <p>9. 透水性アスファルト舗装 (22. 7. 4)(22. 7. 6)</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う</p> <p>・コンクリート平板舗装 (22. 8. 2~4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> </tr> <tr> <td>※普通平板(N)</td> <td>・カラー平板(C)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> </tr> <tr> <td>・洗出平板(W)</td> <td>・掘石平板(S)</td> <td></td> <td>※砂</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・モルタル</td> </tr> </table> <p>・インターロッキングブロック舗装 (22. 8. 2~4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> <tr> <td>※標準ブロック</td> <td>車道部 ※80</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック</td> <td>歩道部 ※60</td> <td>※標準品</td> </tr> <tr> <td>・誘導、注意喚起用ブロック</td> <td></td> <td>誘導、注意喚起用は黄色系とする</td> </tr> <tr> <td>・植生ブロック</td> <td>※80 ・100</td> <td></td> </tr> </table> <p>インターロッキングブロック</p> <table border="1"> <tr> <th>項 目</th> <th>品 質</th> <th>性 能</th> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td>JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ポルトランドセメントとする。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>骨材</td> <td>清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>混和材料</td> <td>インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>着色材料</td> <td>無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外観</td> <td>使用上有害なすず、ひびわれ、欠け、変形等がない。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>寸法許容差(mm)</td> <td>長 さ 幅 厚 さ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通タイプ</td> <td>±3</td> <td>±3</td> </tr> <tr> <td>透水性タイプ</td> <td>±3</td> <td>±3</td> </tr> <tr> <td>植生用タイプ</td> <td>±3</td> <td>±3</td> </tr> <tr> <td>曲げ強度(N/mm<sup>2</sup>)</td> <td>普通タイプ</td> <td>5.0以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透水性タイプ</td> <td>3.0以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>植生用タイプ</td> <td>4.0以上</td> </tr> <tr> <td>透水係数(cm/sec)</td> <td>透水性タイプ</td> <td>1×10<sup>-2</sup>以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>普通タイプ</td> <td>32.0以上</td> </tr> <tr> <td>圧縮強度(N/mm<sup>2</sup>)</td> <td>透水性タイプ</td> <td>17.0以上</td> </tr> </table> <p>・舗石舗装 (22. 8. 2~4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基 層</th> </tr> <tr> <td>※小舗石(花こう岩)</td> <td>※80~100</td> <td>※うろこ張り</td> <td>※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装</td> </tr> </table>	舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類	※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物	・カラー舗装	※無し ・有り		カラー舗装の着色骨材	・有色骨材(焼成)	・着色骨材(樹脂被覆)	アスファルト	※再生アスファルトG	・ストレートアスファルト (22. 4. 3)	区分	※一般地域	寒冷地域	※密粒度アスファルト混合物(13)		※密粒度アスファルト混合物(13F)	※細粒度アスファルト混合物(13)		※細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)	※粗粒度アスファルト混合物(20)			種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	※普通平板(N)	・カラー平板(C)	※300角	※60	・洗出平板(W)	・掘石平板(S)		※砂				・モルタル	種 類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等	※標準ブロック	車道部 ※80	・	・透水性ブロック	歩道部 ※60	※標準品	・誘導、注意喚起用ブロック		誘導、注意喚起用は黄色系とする	・植生ブロック	※80 ・100		項 目	品 質	性 能	セメント	JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ポルトランドセメントとする。		骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。		混和材料	インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。		着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。		外観	使用上有害なすず、ひびわれ、欠け、変形等がない。		寸法許容差(mm)	長 さ 幅 厚 さ		普通タイプ	±3	±3	透水性タイプ	±3	±3	植生用タイプ	±3	±3	曲げ強度(N/mm <sup>2</sup> )	普通タイプ	5.0以上		透水性タイプ	3.0以上		植生用タイプ	4.0以上	透水係数(cm/sec)	透水性タイプ	1×10 <sup>-2</sup> 以上		普通タイプ	32.0以上	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	透水性タイプ	17.0以上	種 類	厚さ(mm)	施工方法	基 層	※小舗石(花こう岩)	※80~100	※うろこ張り	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装
舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類																																																																																																																	
※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物																																																																																																																	
・カラー舗装	※無し ・有り																																																																																																																		
カラー舗装の着色骨材	・有色骨材(焼成)	・着色骨材(樹脂被覆)																																																																																																																	
アスファルト	※再生アスファルトG	・ストレートアスファルト (22. 4. 3)																																																																																																																	
区分	※一般地域	寒冷地域																																																																																																																	
※密粒度アスファルト混合物(13)		※密粒度アスファルト混合物(13F)																																																																																																																	
※細粒度アスファルト混合物(13)		※細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)																																																																																																																	
※粗粒度アスファルト混合物(20)																																																																																																																			
種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材																																																																																																																
※普通平板(N)	・カラー平板(C)	※300角	※60																																																																																																																
・洗出平板(W)	・掘石平板(S)		※砂																																																																																																																
			・モルタル																																																																																																																
種 類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等																																																																																																																	
※標準ブロック	車道部 ※80	・																																																																																																																	
・透水性ブロック	歩道部 ※60	※標準品																																																																																																																	
・誘導、注意喚起用ブロック		誘導、注意喚起用は黄色系とする																																																																																																																	
・植生ブロック	※80 ・100																																																																																																																		
項 目	品 質	性 能																																																																																																																	
セメント	JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ポルトランドセメントとする。																																																																																																																		
骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。																																																																																																																		
混和材料	インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。																																																																																																																		
着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。																																																																																																																		
外観	使用上有害なすず、ひびわれ、欠け、変形等がない。																																																																																																																		
寸法許容差(mm)	長 さ 幅 厚 さ																																																																																																																		
普通タイプ	±3	±3																																																																																																																	
透水性タイプ	±3	±3																																																																																																																	
植生用タイプ	±3	±3																																																																																																																	
曲げ強度(N/mm <sup>2</sup> )	普通タイプ	5.0以上																																																																																																																	
	透水性タイプ	3.0以上																																																																																																																	
	植生用タイプ	4.0以上																																																																																																																	
透水係数(cm/sec)	透水性タイプ	1×10 <sup>-2</sup> 以上																																																																																																																	
	普通タイプ	32.0以上																																																																																																																	
圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	透水性タイプ	17.0以上																																																																																																																	
種 類	厚さ(mm)	施工方法	基 層																																																																																																																
※小舗石(花こう岩)	※80~100	※うろこ張り	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装																																																																																																																

11. 路面標示用塗料	<p>JIS K 5665(路面標示用塗料)による</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅(mm)</th> <th>布厚さ(mm)</th> <th>揮発性有機溶剤の含有率</th> </tr> <tr> <td>・1種G</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>※白</td> <td>※150</td> <td>※1.0</td> <td>塗料総質量に対して5%以下</td> </tr> <tr> <td>・1種G</td> <td>加熱</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・3種1号</td> <td>熔融</td> <td>粉体状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>仕様・寸法 ※図示</p>	種類	施工	適用	色	幅(mm)	布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率	・1種G	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して5%以下	・1種G	加熱						・3種1号	熔融	粉体状																																																
種類	施工	適用	色	幅(mm)	布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率																																																																			
・1種G	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して5%以下																																																																			
・1種G	加熱																																																																								
・3種1号	熔融	粉体状																																																																							
⑫ グラウンド舗装	<p>1. 樹木の植栽基盤整備 (23. 2. 2~3)(表23. 2. 1~2)</p> <table border="1"> <tr> <th>通 用</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工 法</th> <th>整 備 範 囲</th> </tr> <tr> <td>※行う ・行わない</td> <td>※20</td> <td>※B種</td> <td>※植栽範囲 ・図示</td> </tr> </table> <p>樹木 (23. 2. 2~3)(表23. 2. 1~2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高(m)</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工 法</th> <th>整 備 範 囲</th> </tr> <tr> <td>・12以上</td> <td>※100</td> <td>※A種</td> <td>・葉張りの範囲</td> </tr> <tr> <td>・7超~12未満</td> <td>※80</td> <td>・B種</td> <td>・ただし、低木は植栽範囲</td> </tr> <tr> <td>・3超~7以下</td> <td>※60</td> <td>・C種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・3以下</td> <td>※50</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </table> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで補込み用土で盛土を行う。</p> <p>2. 植込み用土 ※現場発生土の良質土 ・客土(※畑土 ・黒土) (23. 2. 3)</p> <p>3. 土壌改良材G ※適用する 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 (23. 2. 3~4)</p> <p>パークたい肥</p> <table border="1"> <tr> <td>有機物の含有量(乾物)</td> <td>: 70%以上</td> </tr> <tr> <td>炭素窒素比(C/N比)</td> <td>: 35以下</td> </tr> <tr> <td>陽イオン交換容量(乾物)</td> <td>: 70meq/100g以上</td> </tr> <tr> <td>pH</td> <td>: 5.5~7.5</td> </tr> <tr> <td>水分</td> <td>: 55~65%</td> </tr> <tr> <td>幼植物試験の結果</td> <td>: 生育阻害その他の異常を認めない</td> </tr> <tr> <td>窒素全量(現物)</td> <td>: 0.5%以上</td> </tr> <tr> <td>りん酸全量(現物)</td> <td>: 0.2%以下</td> </tr> <tr> <td>加里全量(現物)</td> <td>: 0.1%以上</td> </tr> </table> <p>発酵下水汚泥コンポスト 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする</p> <table border="1"> <tr> <td>ひ素</td> <td>: 0.005%以下</td> </tr> <tr> <td>カドミウム</td> <td>: 0.0005%以下</td> </tr> <tr> <td>水銀</td> <td>: 0.0002%以下</td> </tr> <tr> <td>ニッケル</td> <td>: 0.03%以下</td> </tr> <tr> <td>クロム</td> <td>: 0.05%以下</td> </tr> <tr> <td>鉛</td> <td>: 0.01%以下</td> </tr> <tr> <td>有機物の含有量(乾物)</td> <td>: 35%以上</td> </tr> <tr> <td>炭素窒素比(C/N比)</td> <td>: 20以下</td> </tr> <tr> <td>pH</td> <td>: 8.5以下</td> </tr> <tr> <td>水分</td> <td>: 50%以下</td> </tr> <tr> <td>窒素全量(現物)</td> <td>: 0.8%以上</td> </tr> <tr> <td>りん酸全量(現物)</td> <td>: 1.0%以上</td> </tr> <tr> <td>アルカリ分(現物)</td> <td>: 15%以下</td> </tr> </table> <p>4. 支柱材 ※杉の焼丸太(間伐材)G ・真竹 (23. 3. 2)</p> <p>5. 幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23. 3. 2)</p> <p>6. 芝張り 種類 ・こうらい芝 ・野芝 (23. 4. 2)</p> <p>7. 屋上緑化 (23. 5. 2)</p> <p>屋上緑化システムG</p> <p>・管理方法による区分 ・省管理型 ( ) kg/m<sup>2</sup></p> <p>質量の上限値 ・設ける(工事区分は図示)</p> <p>かん水装置</p> <p>透水路、保水路及び排水層等</p> <p>保水路及び排水層の鉛直方向の排水能力：240L/m<sup>2</sup>・h以上</p> <p>耐荷重性能</p> <p>省管理型：3×10<sup>4</sup>N/m<sup>2</sup>以上の荷荷重で異常のないこと。</p> <p>耐根層の材料</p> <p>合成樹脂耐根シート(厚さ3mm以上)又は抗根性剤とする(耐根性能の実績を有すること) (23. 5. 3)</p> <p>植込み用土 製造所の仕様による</p> <p>植栽の種類 製造所の指定するものとする</p> <p>・管理方法による区分 ・管理型</p>	通 用	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整 備 範 囲	※行う ・行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・図示	樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整 備 範 囲	・12以上	※100	※A種	・葉張りの範囲	・7超~12未満	※80	・B種	・ただし、低木は植栽範囲	・3超~7以下	※60	・C種	・図示	・3以下	※50	・D種		有機物の含有量(乾物)	: 70%以上	炭素窒素比(C/N比)	: 35以下	陽イオン交換容量(乾物)	: 70meq/100g以上	pH	: 5.5~7.5	水分	: 55~65%	幼植物試験の結果	: 生育阻害その他の異常を認めない	窒素全量(現物)	: 0.5%以上	りん酸全量(現物)	: 0.2%以下	加里全量(現物)	: 0.1%以上	ひ素	: 0.005%以下	カドミウム	: 0.0005%以下	水銀	: 0.0002%以下	ニッケル	: 0.03%以下	クロム	: 0.05%以下	鉛	: 0.01%以下	有機物の含有量(乾物)	: 35%以上	炭素窒素比(C/N比)	: 20以下	pH	: 8.5以下	水分	: 50%以下	窒素全量(現物)	: 0.8%以上	りん酸全量(現物)	: 1.0%以上	アルカリ分(現物)	: 15%以下
通 用	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整 備 範 囲																																																																						
※行う ・行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・図示																																																																						
樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整 備 範 囲																																																																						
・12以上	※100	※A種	・葉張りの範囲																																																																						
・7超~12未満	※80	・B種	・ただし、低木は植栽範囲																																																																						
・3超~7以下	※60	・C種	・図示																																																																						
・3以下	※50	・D種																																																																							
有機物の含有量(乾物)	: 70%以上																																																																								
炭素窒素比(C/N比)	: 35以下																																																																								
陽イオン交換容量(乾物)	: 70meq/100g以上																																																																								
pH	: 5.5~7.5																																																																								
水分	: 55~65%																																																																								
幼植物試験の結果	: 生育阻害その他の異常を認めない																																																																								
窒素全量(現物)	: 0.5%以上																																																																								
りん酸全量(現物)	: 0.2%以下																																																																								
加里全量(現物)	: 0.1%以上																																																																								
ひ素	: 0.005%以下																																																																								
カドミウム	: 0.0005%以下																																																																								
水銀	: 0.0002%以下																																																																								
ニッケル	: 0.03%以下																																																																								
クロム	: 0.05%以下																																																																								
鉛	: 0.01%以下																																																																								
有機物の含有量(乾物)	: 35%以上																																																																								
炭素窒素比(C/N比)	: 20以下																																																																								
pH	: 8.5以下																																																																								
水分	: 50%以下																																																																								
窒素全量(現物)	: 0.8%以上																																																																								
りん酸全量(現物)	: 1.0%以上																																																																								
アルカリ分(現物)	: 15%以下																																																																								
23章 植栽工事	<p>設計年月</p> <p>縮 尺</p> <p>A1 :</p> <p>A3 : 表記の50%</p> <p>52-037</p> <p>物件名称 御坂中学校グラウンド整備工事</p> <p>図面名称 外構特記仕様書-4</p> <p>区分 建築意匠</p> <p>No. G04</p>																																																																								



■仮設計画

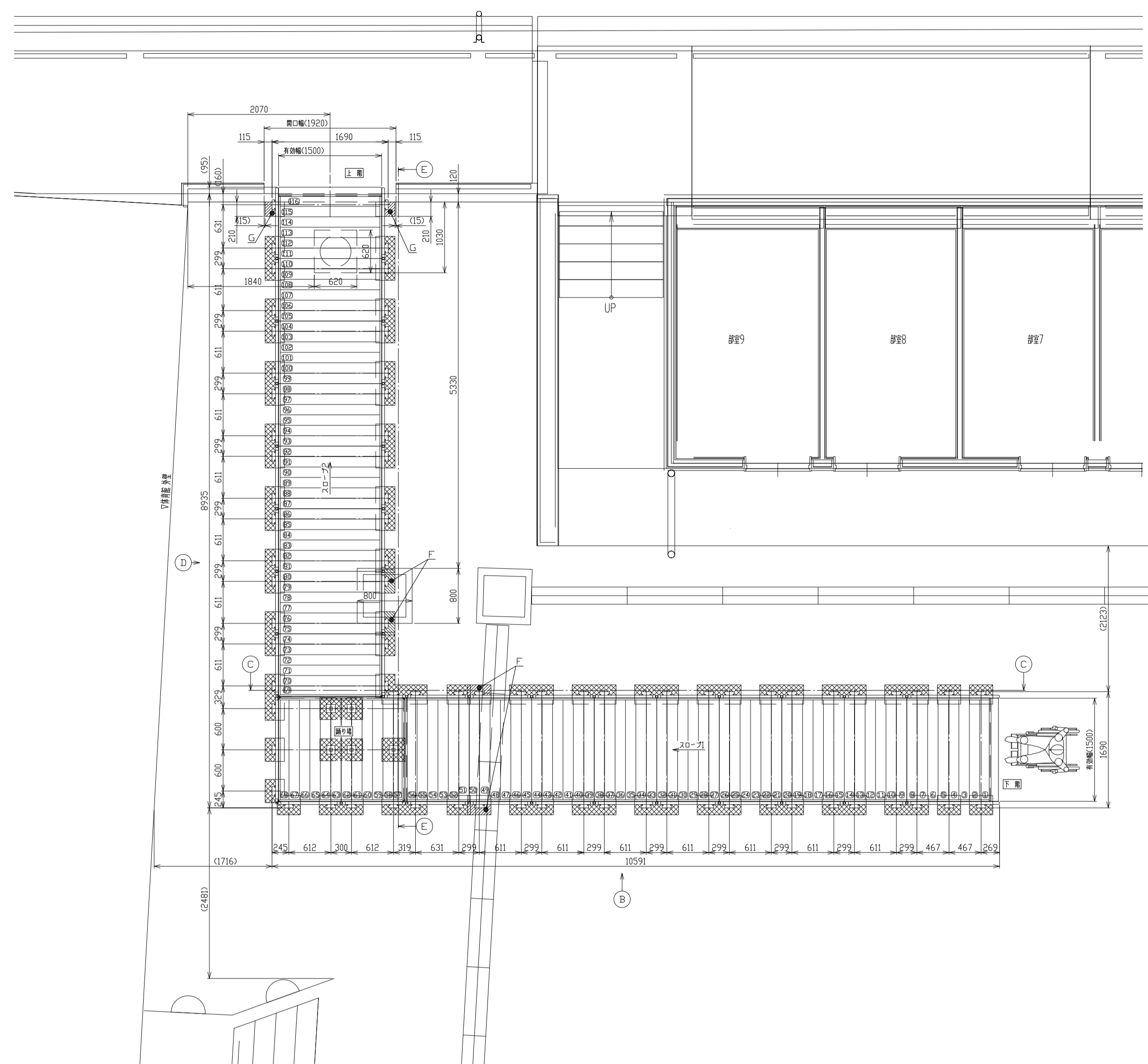
記号	仕様	数量
⊗	交通誘導員	延べ50 (人)
■	別途工事エリア	
→	生徒動線、給食車両動線を示す	
→	工事車輛動線を示す	



設計年月	縮尺	物件名称	区分
52-037	A1: 1:400 A3: 表記の50%	御坂中学校グラウンド整備工事	建築意匠
		図面名称	No.
		案内図、仮設計画図	G05



整備項目	数量
1. グラウンド整備 ①グラウンド整地 草刈り・掃除、石の除去、不陸調整、表面仕上、転圧 (8/25までに実施) ②鍍取り後、天然クレー系舗装 t80 (グリーンサンド同等品) (9/25から実施) ③走り幅跳び砂場再整備 ④野球場ベース再整備 (ホームベース、1~3塁、ピッチャーPL)	10,450.00㎡
2. 防球ネット+バックネット H=8m、L=71m	1式
3. 排水溝	50m
4. 雨水枡	1ヶ
5. アルミスロープ+コンクリート基礎	1式
6. 既存グラウンドスピーカー配線工事	1式
7. 既存倉庫1台移設、倉庫基礎新設	1式
※1 残土搬出に際し、下記内容の試験を実施すること。 化学性状の含有・溶出分析(公定法)：鉛、セレン、ヒ素、フッ素 計4物質  ※2 発生土搬出に際し、下記土質試験を本工事に見込むこと。(合計8項目/1検体) ・土粒子の密度試験 ・含水比試験 ・粒度試験 ・締固め試験 ・修正CBR試験 ・コーン指数試験(4段階) ・土の液性、塑性限界試験 ・液性限界試験、塑性限界試験 各1	



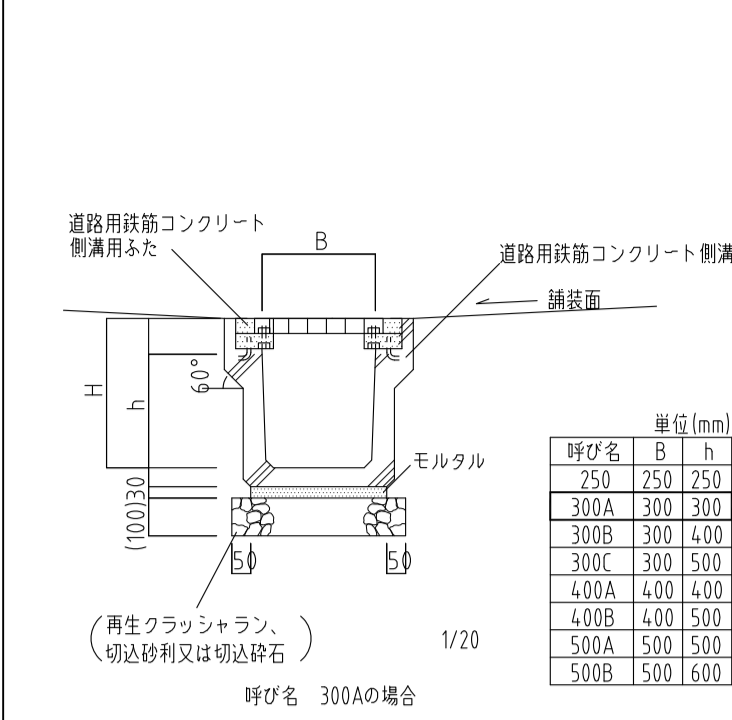
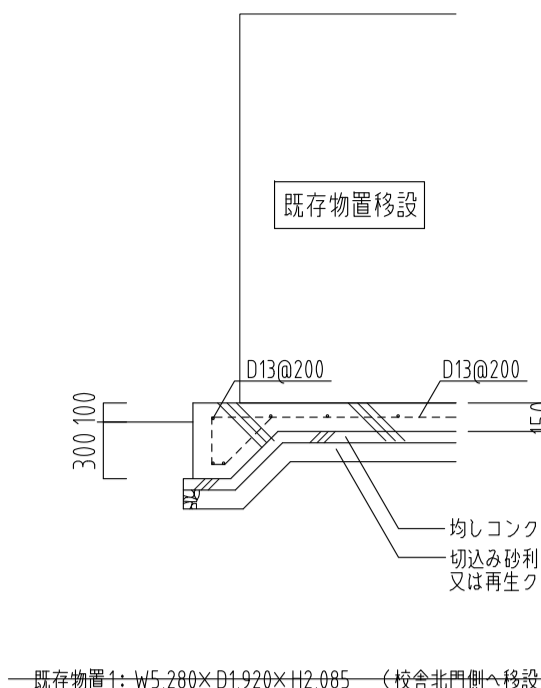
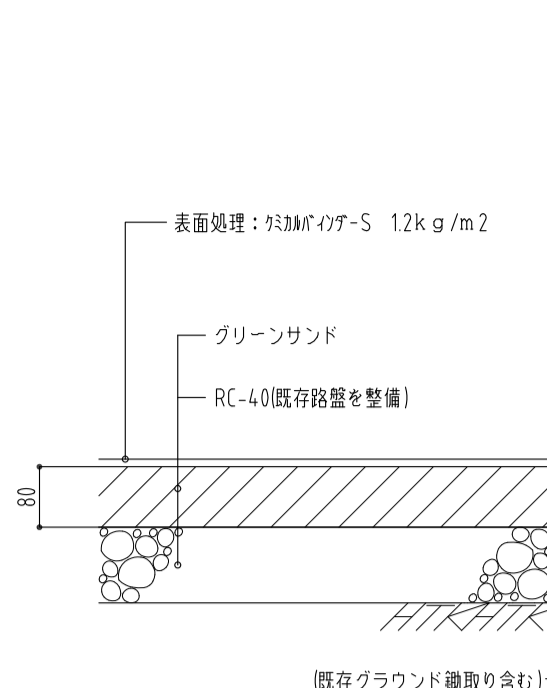
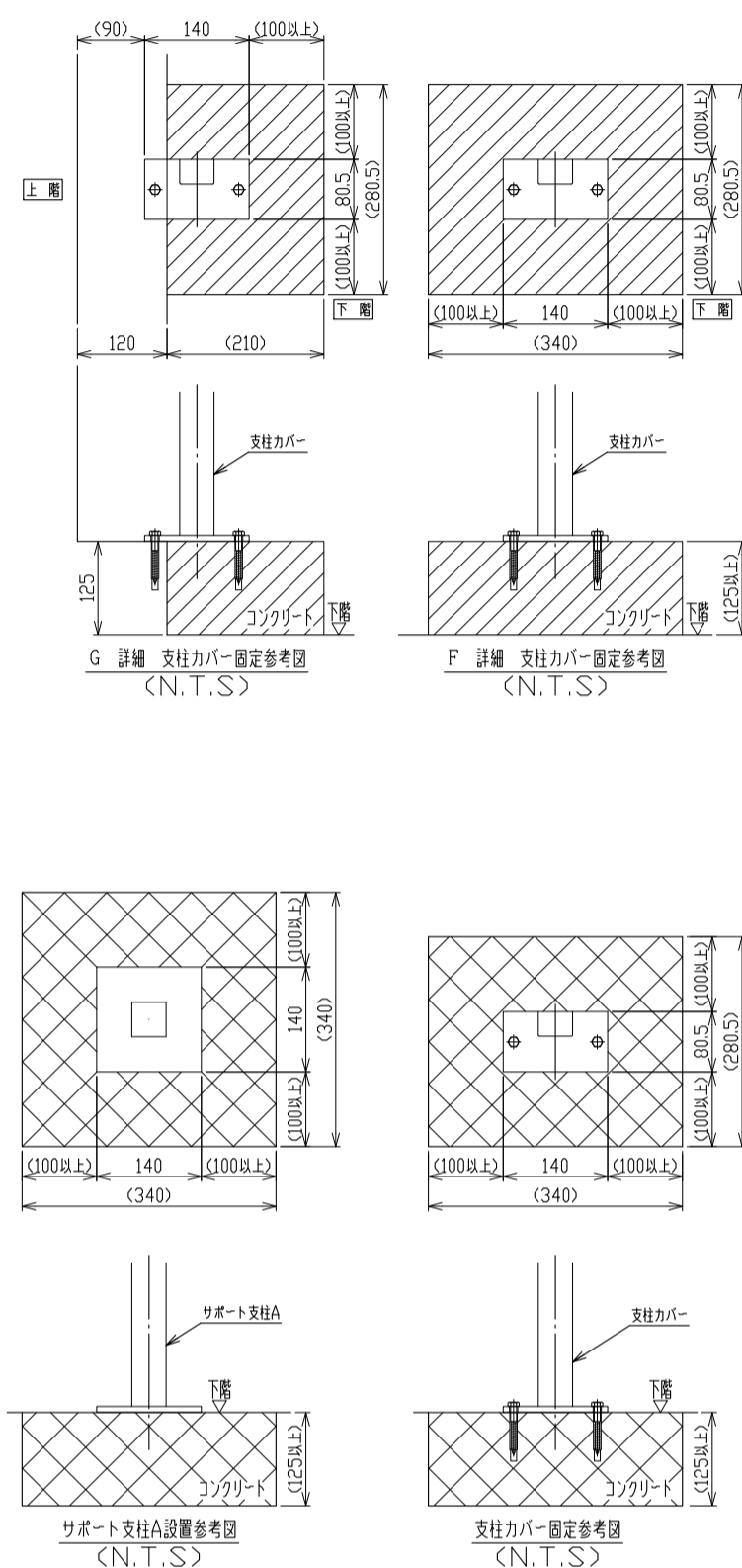
支柱設置位置 : 平面でコンクリート厚さ125mm以上、強度  
21N/mm<sup>2</sup>(FC21)以上として下さい。  
(※ 斜線部・点線部・点線部、含む)

注意事項

\* 支柱設置位置は平面でアンカー固定できる構造とする。

材質

- \* 本体 : アルミニウム
- \* 樹脂部 : ナイロン
- \* ボルト類 : ステンレス

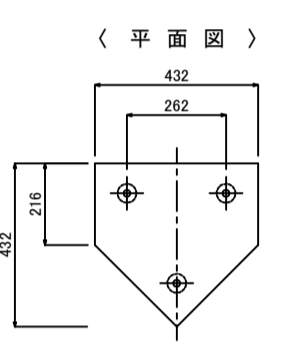


呼び名	B	h
250	750	750
300A	300	300
300B	300	1400
300C	300	500
400A	400	400
400B	400	500
500A	500	500
500B	500	1600

ホームベース、ピッチャープレート詳細図

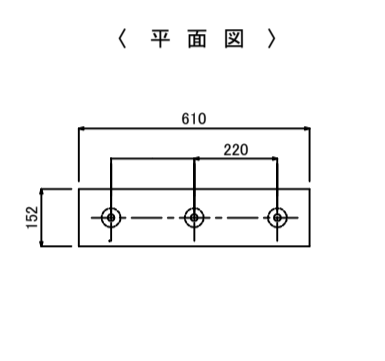
ホームベース詳細図

S=1/10

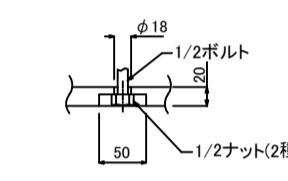


ピッチャープレート詳細図

S=1/10



(A部詳細 S=NON)



仕様  
固定ボルト : ステンレス (1/2×L70mm)  
プラスチック台 : 再生プラスチック (黒色)  
ホームベース : 硬質ゴム (白色)

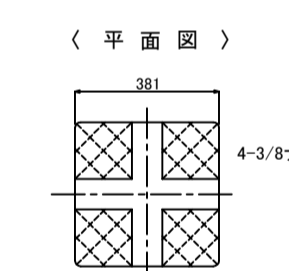
重量 : 16kg ホームベース  
重量 : 10.4kg ピッチャープレート

皿ベース詳細図

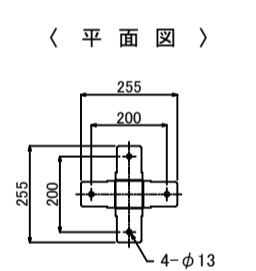
皿ベース詳細図

S=1/10

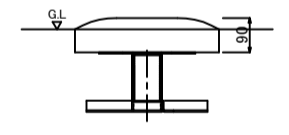
ベース本体 S=1/20



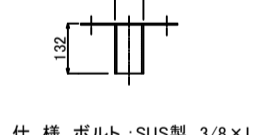
金具詳細図 S=1/20



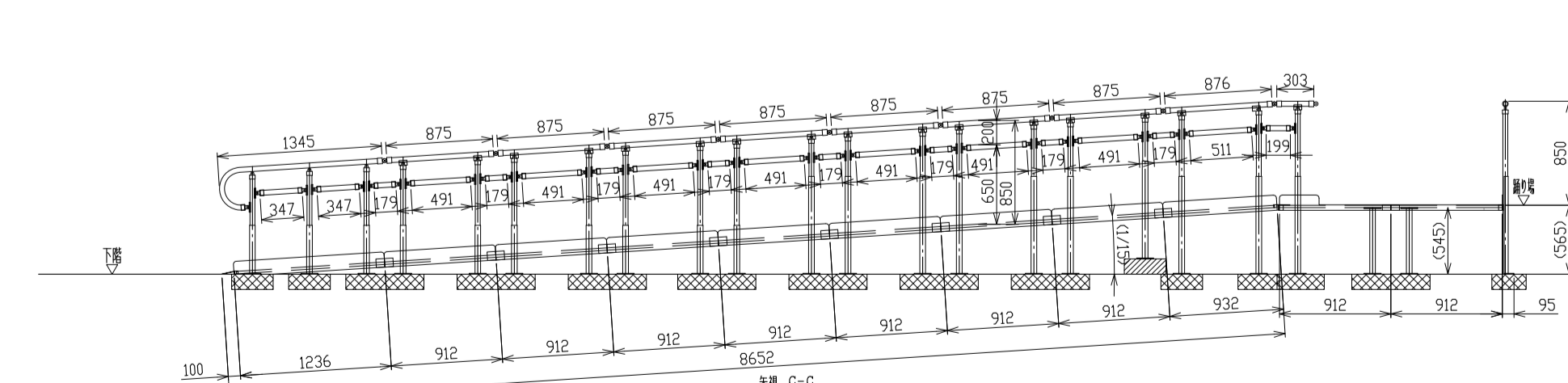
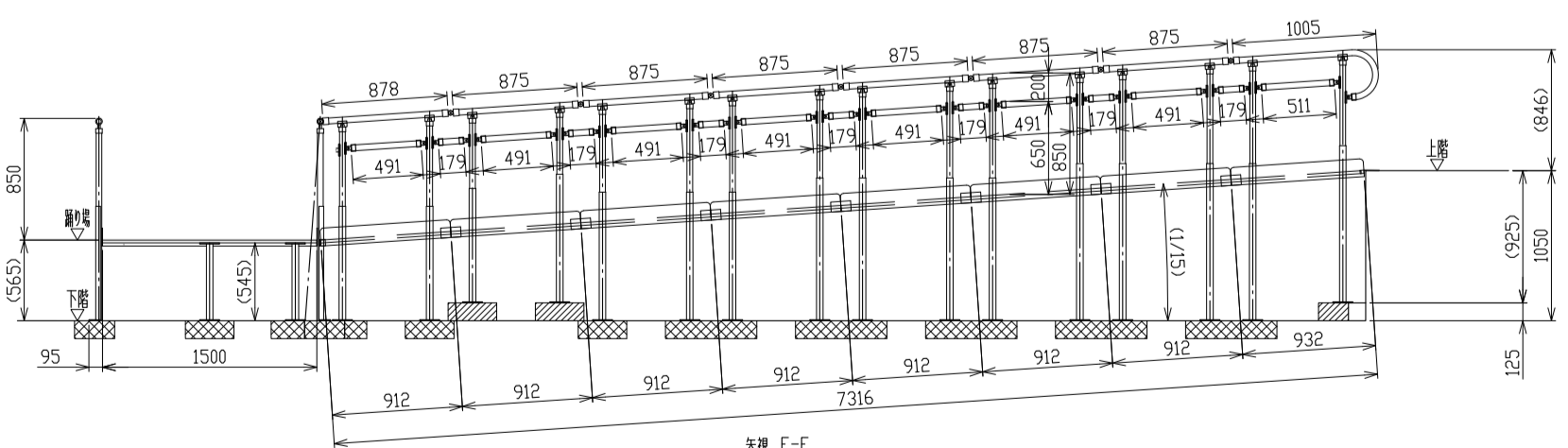
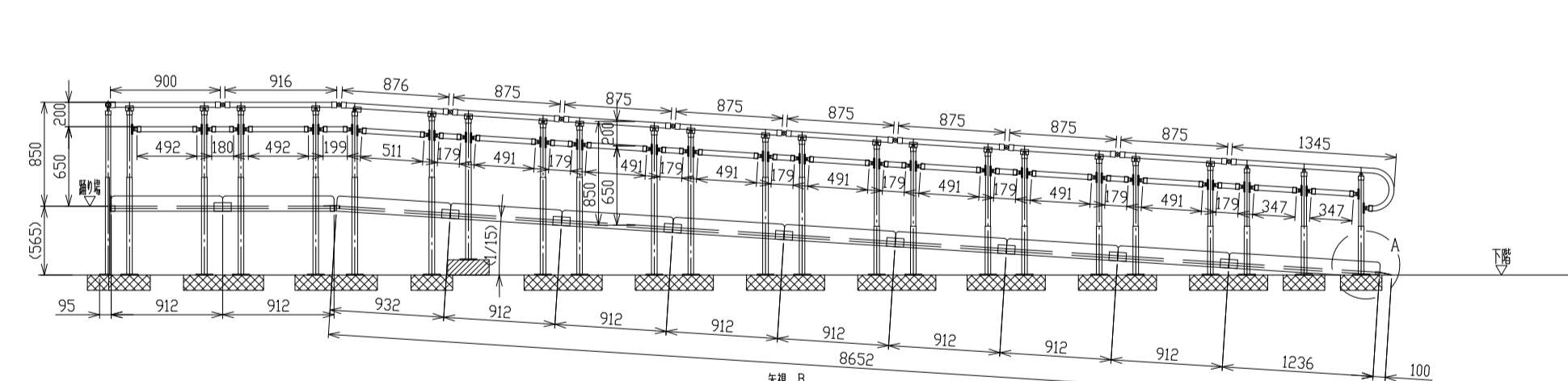
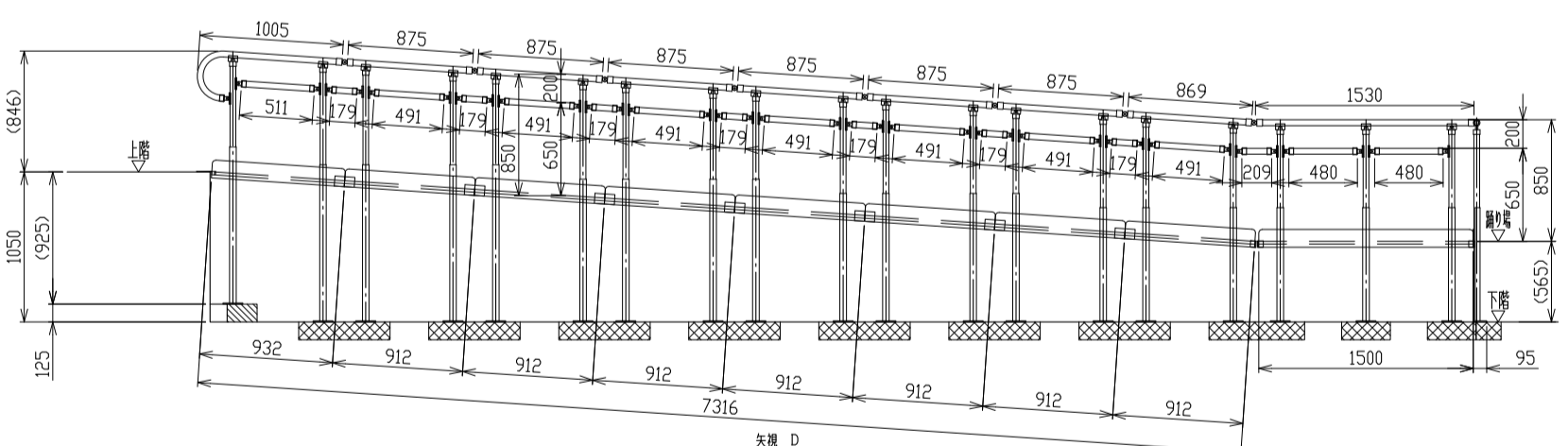
蓋詳細 S=1/10



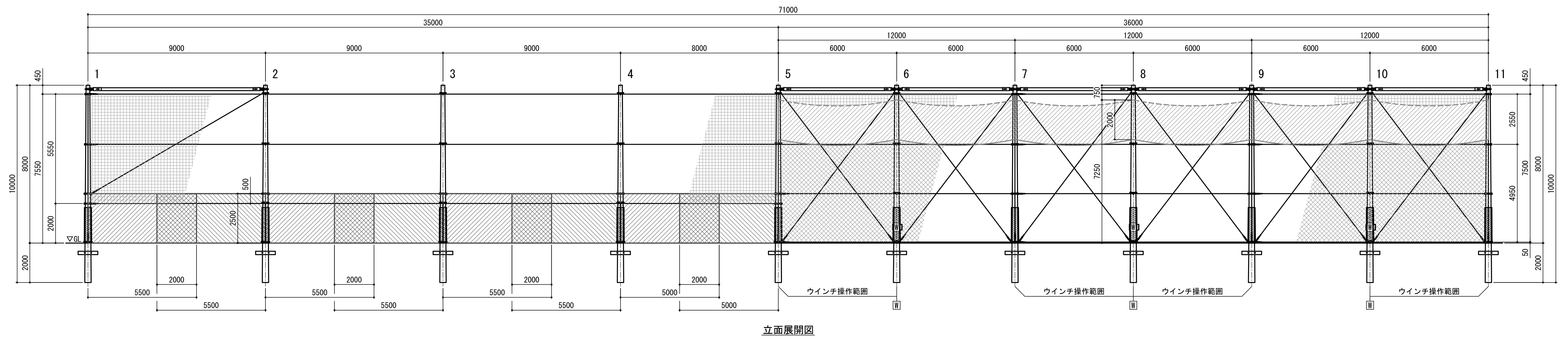
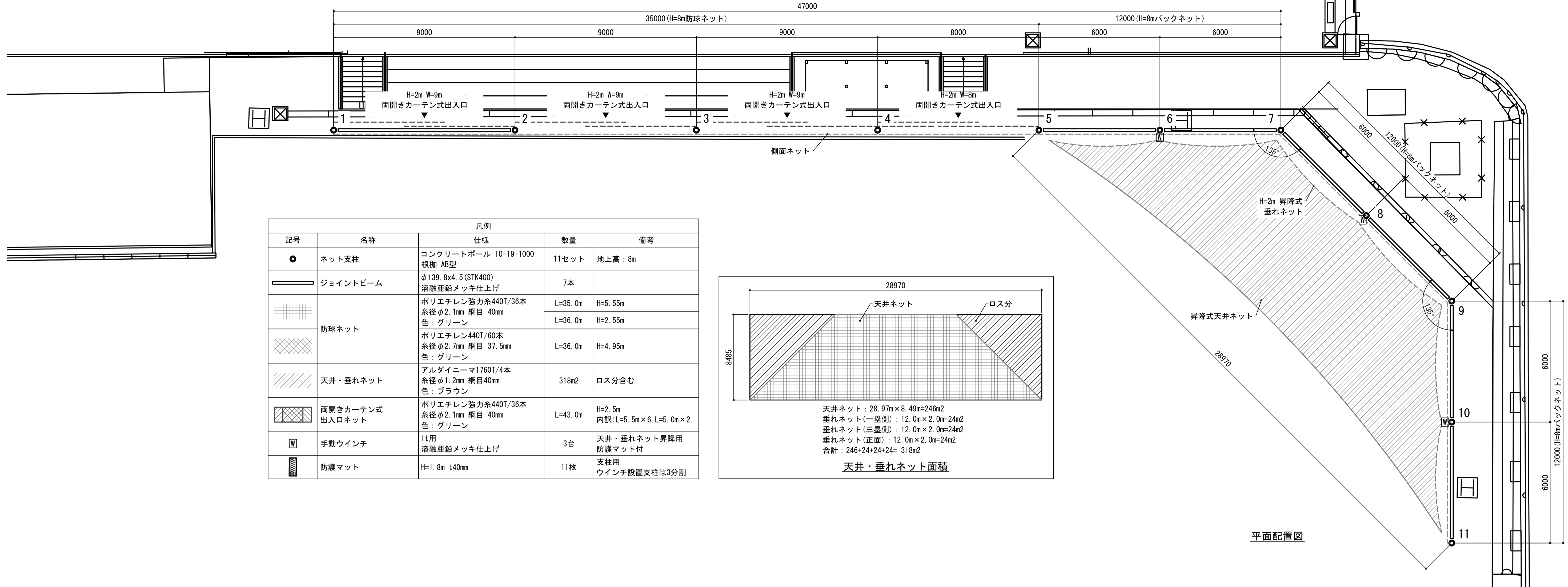
側面図:上金具

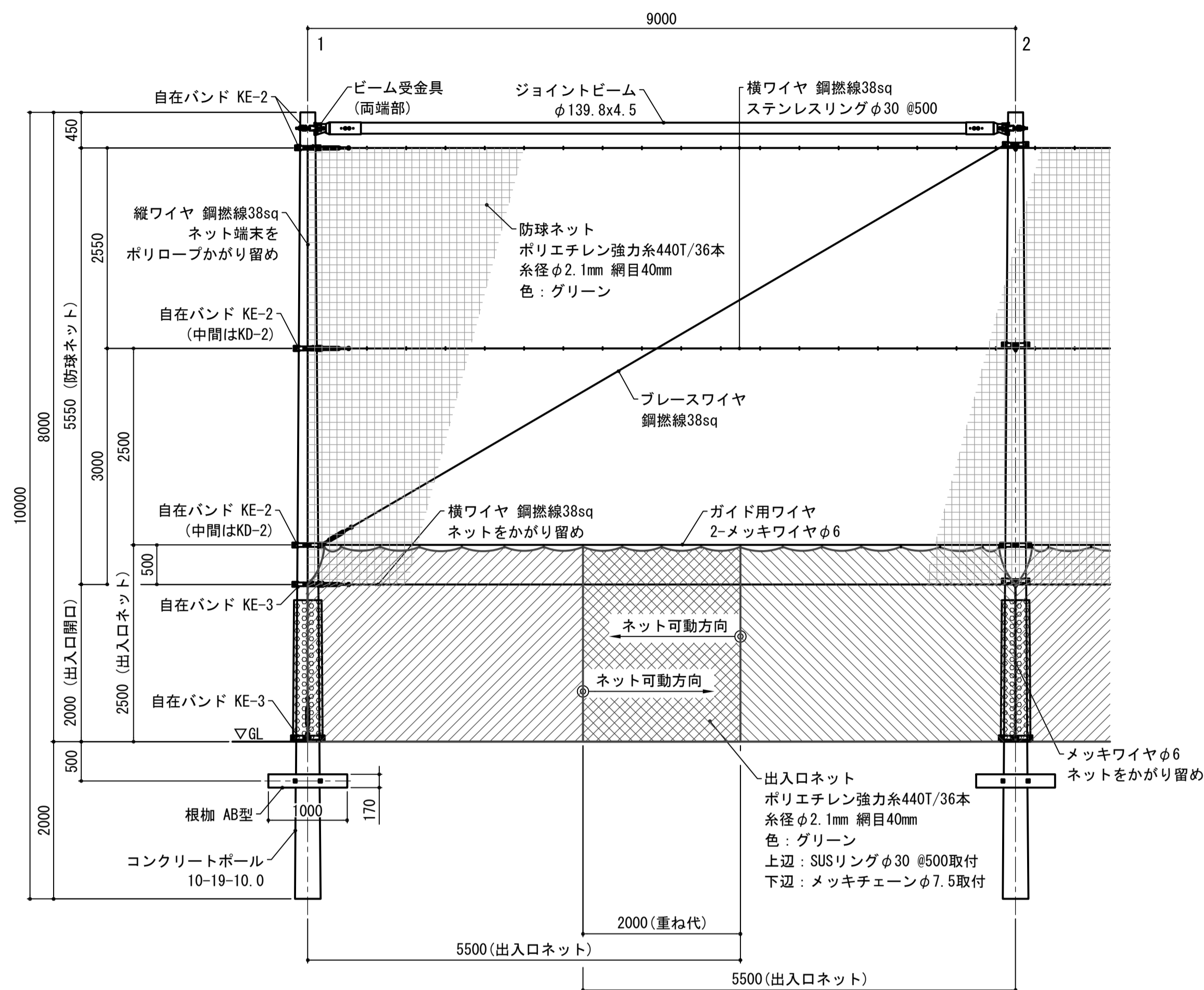


仕様  
ボルト : SUS製 3/8×L20  
本体 : SUS 304 (JIS G4304)  
ゴム蓋 : 硬質ゴム (非茶色)  
中芯材 : フレックソップモールド  
重量 : 一式 (3個) 11.7kg



新校舎





防球ネット正面図

特記事項

- ・ジョイントビームの材質はスチール製(STK400, SS400)、仕上げは溶融亜鉛メッキとする。
- ・ジョイントビームは端部の柱間に設置。
- ・ブレースワイヤは端部の柱間に設置。
- ・鋼燃線の両側端部に巻付グリップ38sq用、片側端部にターンバックルW5/8"を設置。

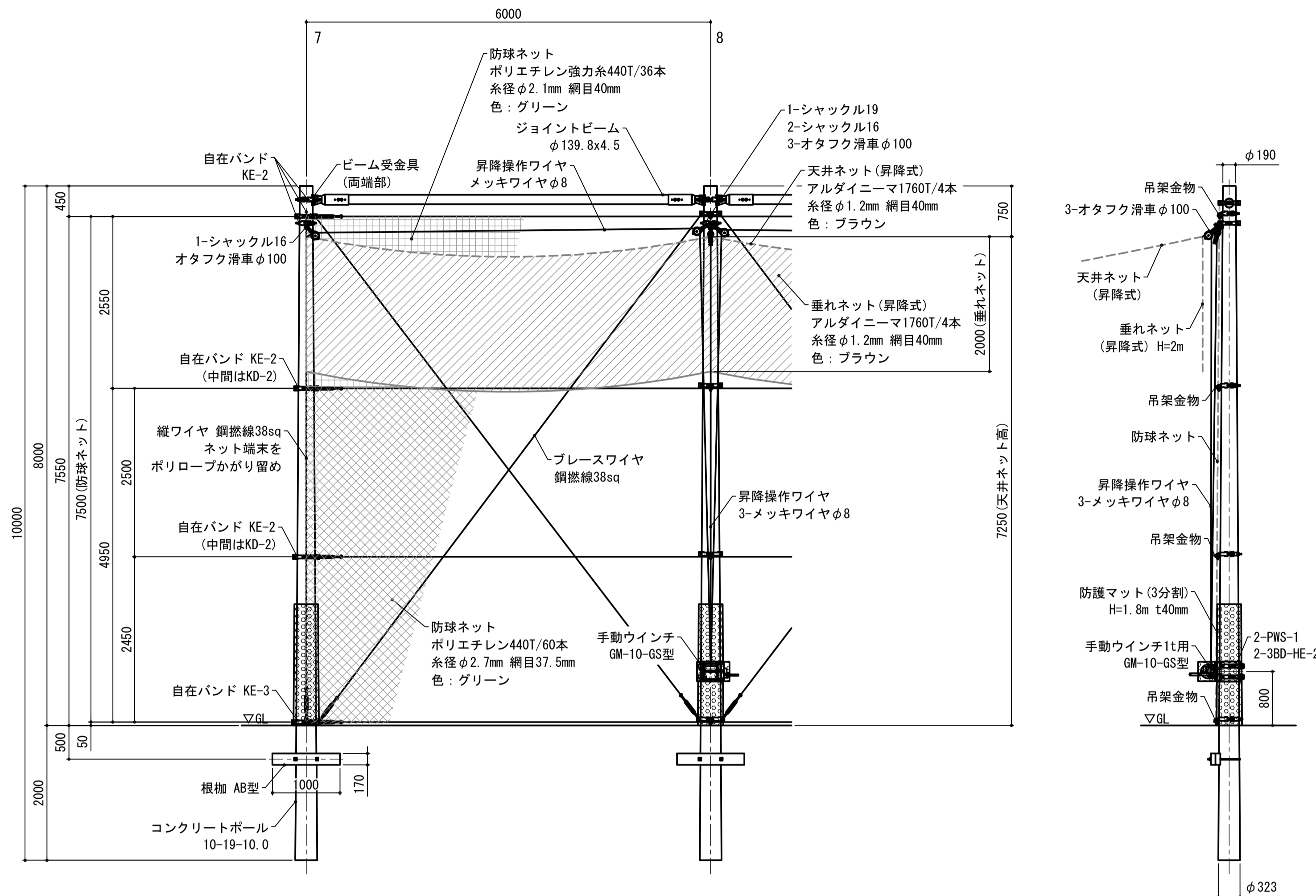
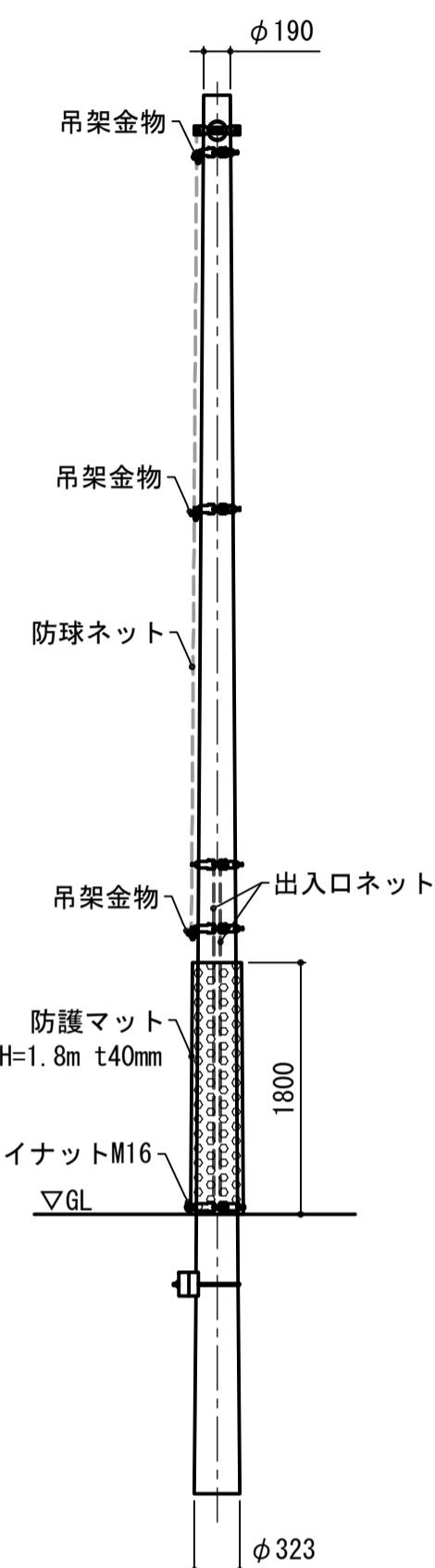
●防球ネット支柱 設計条件

- ・設計風速：30m/s(山梨県笛吹市)
- ・地表面粗度区分：Ⅲ
- ・土質係数：配電規定 土質C(仮定)
- ・柱スパン：10m

●土質係数表

土質の種類		土質係数(N/m <sup>4</sup> )
普通土質	A 固まっている土又は、砂、多数の砂利、石塊まじりの土などで固い土の部類に属するもの	3.9x10 <sup>7</sup>
	B 固まっている土又は、砂、多数の砂利、石塊まじりの土などで柔らかい土の部類に属するもの	2.9x10 <sup>7</sup>
軟弱土質	C 流砂(土が混じらないもの)	2.0x10 <sup>7</sup>
	D 水分の多い粘土、腐葉土、盛土などの軟弱な土(深田を除く)	0.8x10 <sup>7</sup>

防球ネット断面図



バックネット正面図

特記事項

- ・ジョイントビームの材質はスチール製(STK400, SS400)、仕上げは溶融亜鉛メッキとする。
- ・ジョイントビームは天井ネットを設置する全ての柱間に設置。
- ・ブレースワイヤは天井ネットを設置する全ての柱間に設置。
- ・鋼燃線の両側端部に巻付グリップ38sq用、片側端部にターンバックルW5/8"を設置。

●バックネット支柱 設計条件

- ・設計風速：25m/s(ネット昇降式)
- ・管理風速は20m/sとし、20m/s以上の風が吹くおそれのある場合、または降雪時はネットを降ろした状態にする
- ・地表面粗度区分：Ⅲ
- ・土質係数：配電規定 土質C(仮定)
- ・柱スパン：6.0m

●土質係数表

土質の種類		土質係数(N/m <sup>4</sup> )
普通土質	A 固まっている土又は、砂、多数の砂利、石塊まじりの土などで固い土の部類に属するもの	3.9x10 <sup>7</sup>
	B 固まっている土又は、砂、多数の砂利、石塊まじりの土などで柔らかい土の部類に属するもの	2.9x10 <sup>7</sup>
軟弱土質	C 流砂(土が混じらないもの)	2.0x10 <sup>7</sup>
	D 水分の多い粘土、腐葉土、盛土などの軟弱な土(深田を除く)	0.8x10 <sup>7</sup>

設計年月

52-037

縮尺

A1: 2:1  
A3: 表記の50%

物件名称 御坂中学校グラウンド整備工事

図面名称 外構図-4

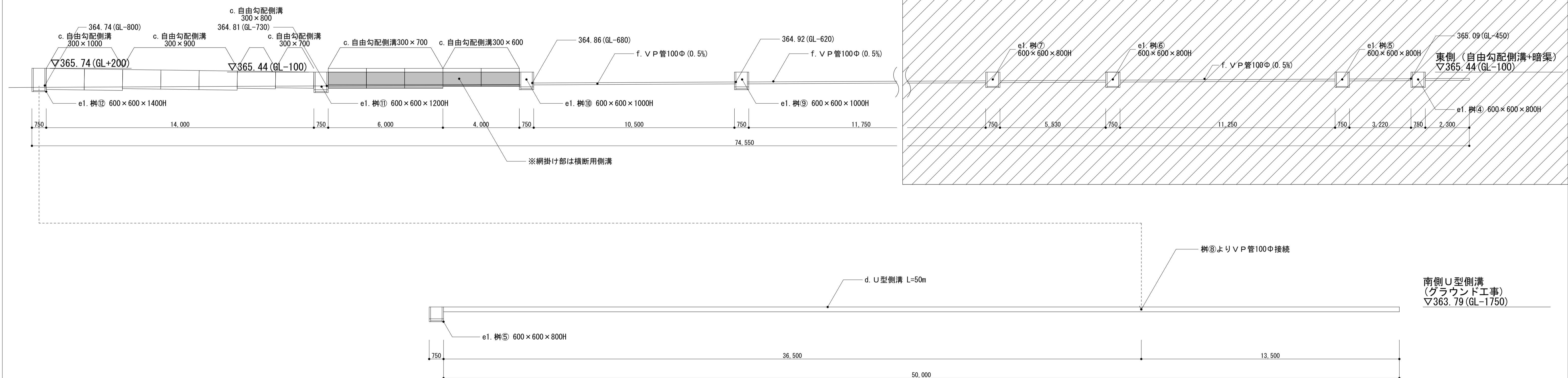
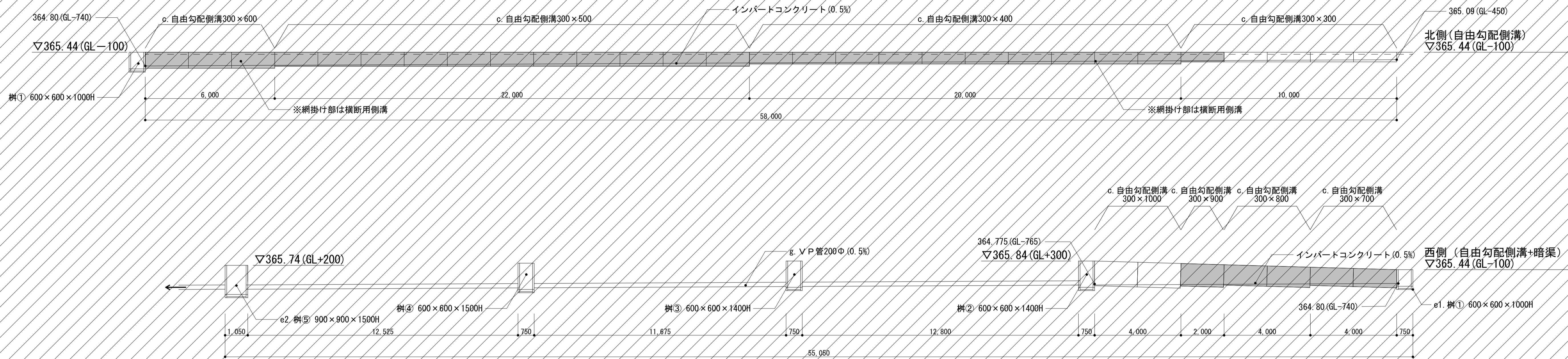
区分

建築意匠

No.

G09

北・西側自由勾配側溝 展開図 (躯体解体工事及び外構工事)



設計年月	縮尺	物件名称	区分
52-037	A1: 1:100 A3: 表記の50%	御坂中学校グラウンド整備工事	建築意匠
		図面名称 外構図-5	No.
			G10